

北イタリア安全対策情報（2026年4月～6月）

1 治安情勢

当地では、依然として窃盗事件が多発しており、多くの日本人が被害に遭っています。警戒心を維持し、貴重品は身体から離さず、適切な管理を徹底してください。

また、ミラノ市西部のシティライフ（CityLife）及びロット（Lotto）駅周辺では、走行中の車両に故意にパンクや追突事故を起こして停車させ、運転者が車両の損傷等を確認している際に車内の貴重品を盗む手口が複数確認されています。このような手口が疑われる場合は、慌てて車外に出ることなく周囲の状況を十分確認し、可能な限り人目につく安全な場所へ移動して対応してください。車外に出る際は必ず施錠し、バッグ、財布、パスポート等の貴重品は必ず携行してください。

2 日本人被害（件数は当館に届け出のあったもののみを計上）

以下は、日本人が被害に遭った犯罪事例をまとめたものです。

（1）スリ：19件（1月～3月：17件）

被害例：電車内でスーツケースの置き場所を探していたところ、2人組の女性に話しかけられ、荷物を網棚に載せるよう勧められた。断ったものの執拗に手伝おうとされ、網棚に荷物を載せている際に所持していた財布が盗まれた。（ミラノ）。

（2）置き引き：13件（同：14件）

被害例：展示会場のブース内で商談中、足元に置いていたバッグが盗まれた。（ミラノ）。

（3）車上ねらい：3件（同：0件）

被害例：オートバイによる追突事故後、相手の運転手と車両の損傷を確認している際に、別の男に助手席に置いていたバッグ等を盗まれた（ミラノ）。

（4）詐欺：1件（同：0件）

被害例：路上で車に乗った2人組の男から、「財布を盗まれ、レンタカー代が支払えないので立て替えてほしい。」などと助けを求められ、名刺やSNS等を見せられ、実在するアパレル関係者であるかのように装われたことから信用し、ATMで現金を引き出して手渡したが、その後連絡が取れなくなった（トリノ）。

3 殺人・強盗・誘拐等の凶悪犯罪事例

以下は、凶悪犯罪被害の事例（日本人以外の被害者）です。

- （1）4月中旬の深夜、パドヴァ市の路上で、40代の男性が刃物で十数回刺されて死亡し、その後、知人で共同事業者でもあった40代の男が殺人容疑で逮捕された。
- （2）5月中旬の夕方、モデナ市中心部で、30代の男（逮捕）が故意に車両を歩道へ乗り上げて歩行者らに突入した後、逃走を制止した通行人をナイフで負傷させる事案が発生し、計8人が重軽傷を負った。
- （3）5月下旬の夜、ミラノ市チェルトーザ駅構内で、20代の男性が兄弟及び友人の3人でいたところ、偶発的な口論をきっかけに十数人の若者の集団（一部逮捕）に取り囲まれて襲われ、脚などを刃物で約30回刺され、失血死した。

4 テロ・爆発物事件発生状況

イタリア国内ではテロ事件の発生は確認されていないものの、テロ計画等の容疑による逮捕者が出ています。また、中東情勢の悪化を背景に、空港、駅、宗教施設、イスラエル・米軍関連施設などを中心に警備が強化されています。引き続き、周囲の安全状況に十分ご注意ください。

【逮捕事案】

- (1) 5月下旬、レッジョ・エミリアで、イスラム国（IS）支持者と接触し、刃物による襲撃を計画していた疑いで、22歳の男が逮捕された。
- (2) 6月上旬、ミラノで、SNS上で継続的にイスラム国（IS）の宣伝やテロ攻撃の賞賛、ジハード思想の拡散を行った疑いで21歳の男が逮捕された。

【今後の主な宗教行事・国際イベント】

◇ ユダヤ教の主な記念日・祭日

- ティシャ・ベアブ：2026年7月22日夕～23日頃
- ロシュ・ハシャナ：2026年9月11日夕～13日頃
- ヨム・キプール：2026年9月20日夕～21日頃
- スコット（仮庵の祭り）：2026年9月25日夕～10月2日頃

◇ イスラム教の主な記念日・祭日

- マウリド（預言者ムハンマド生誕祭）：2026年8月25日夕～26日頃

5 対日感情の変化、日本企業の安全に関する諸問題

特段の問題は認められません。